

平成18年11月期

中間決算短信(非連結)

平成18年7月13日

上場会社名
コード番号株式会社 キヤンドウ
2698上場取引所
本社所在都道府県東
東京都

(URL http://www.cando-web.co.jp)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 城戸 博司

問合せ先責任者 役職名 取締役管理部長 氏名 武藤 真朗

TEL (03) 5944-4112

決算取締役会開催日 平成18年7月13日

中間配当制度の有無 有

中間配当支払開始日 平成18年8月25日

単元株制度採用の有無 無

1. 平成18年5月中間期の業績(平成17年12月1日～平成18年5月31日)

(1) 経営成績 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|----------|--------|-----|-------|------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 18年5月中間期 | 33,544 | 0.4 | 1,388 | △2.2 | 1,323 | △11.7 |
| 17年5月中間期 | 33,421 | 9.0 | 1,419 | 34.5 | 1,498 | 40.9 |
| 17年11月期 | 65,852 | | 2,761 | | 2,955 | |

| | 中間(当期)純利益 | | 1株当たり中間(当期)純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益 | |
|----------|-----------|-------|----------------|----|-----------------------|----|
| | 百万円 | % | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 18年5月中間期 | 286 | △51.0 | 1,819 | 96 | 1,508 | 82 |
| 17年5月中間期 | 585 | 27.2 | 3,817 | 65 | 3,164 | 40 |
| 17年11月期 | 1,145 | | 7,307 | 68 | 6,005 | 86 |

(注) ①持分法投資損益 18年5月中間期 一百万円 17年5月中間期 一百万円 17年11月期 一百万円

②期中平均株式数 18年5月中間期 157,533株 17年5月中間期 153,300株 17年11月期 153,810株

③会計処理の方法の変更 無

④売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率であります。

(2) 財政状態 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--|-------|--|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 18年5月中間期 | 23,304 | | 9,748 | | 41.8 | 61,230 | 51 | |
| 17年5月中間期 | 22,509 | | 8,689 | | 38.6 | 56,411 | 98 | |
| 17年11月期 | 23,467 | | 9,248 | | 39.4 | 59,190 | 52 | |

(注) ①期末発行済株式数 18年5月中間期 159,204株 17年5月中間期 154,030株 17年11月期 155,886株

②期末自己株式数 18年5月中間期 一株 17年5月中間期 一株 17年11月期 一株

(3) キャッシュ・フローの状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | | 投資活動による キャッシュ・フロー | | 財務活動による キャッシュ・フロー | | 現金及び現金同等物 期末残高 | |
|----------|----------------------|--|----------------------|--|----------------------|--|-------------------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | |
| 18年5月中間期 | 1,168 | | △1,088 | | △127 | | 3,889 | |
| 17年5月中間期 | 1,248 | | △655 | | △73 | | 3,576 | |
| 17年11月期 | 2,398 | | △1,414 | | △108 | | 3,931 | |

2. 平成18年11月期の業績予想(平成17年12月1日～平成18年11月30日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----|--------|-------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 通期 | 68,140 | 2,536 | 722 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 4,535円04銭

3. 配当状況

| 現金配当 | 1株当たり配当金(円) | | |
|-------------|-------------|-------|-------|
| | 中間期末 | 期末 | 年間 |
| 17年11月期 | 500 | 1,000 | 1,500 |
| 18年11月期(実績) | 750 | — | 1,500 |
| 18年11月期(予想) | — | 750 | — |

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照して下さい。

1. 企業集団の状況

該当事項はありません。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、「お客様の立場に立って」を基本に、「消費生活をより豊かにする事によって地域社会の向上、発展に寄与する」を経営理念とし、この実現のために「商品開発の追求」、「出店開発の追求」、「個店対応の追求」を目指して経営戦略を展開しております。特に、「商品開発の追求」では多くのお客様に「いいものを安く売る（品質の向上と低価格の実現）」をモットーに、お客様のニーズに対応した商品開発に力をいれております。

(2) 会社の利益配分に関する基本方針

当社は、利益配分につきましては、将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績と連動した安定的な配当を継続していくことを基本方針としております。内部留保資金につきましては、店舗開発及び情報化投資等に有効活用してまいります。

(3) 中長期的な経営戦略と課題

当社は、時代の変化に対応した改革を推進することにより、常にお客様の期待に応え、新たな買い物の楽しさと感動を提供し、着実な成長を続けていく所存であります。100円ショップ業界は中長期的にも市場規模の拡大が見込まれますが、当社はその中でシェアを維持・拡大すべく、堅牢な経営基盤を確立しながら収益力も強化し、企業価値を高めて参ります。中期的に営業利益率5%を目指すとともに、資本効率も重視し総資本経常利益率10%を確保することを目標としております。

① 消費者ニーズを捉えた新規商品の開発力強化

商品力こそが成長の源泉と認識し、お客様のニーズに対応して、常に商品のクオリティと品揃えの豊富さを強化し続けます。

② 店舗形態の多様化

店舗形態やエリアの多様化を図り、お客様の新たなニーズを掘り起こすとともに、新たな出店チャンス拡大に努めます。

③ 人財の確保と育成

当社は「お客様のために」と考え、行動する人財に支えられています。このような人財を数多く確保し、育成する体制を強化してまいります。

④ 情報化投資による店舗運営の効率化

情報化投資を推進し、発注、在庫管理、シフト管理等、店舗運営の効率化と高度化を図り、個店毎の収益性向上を追求します。

3. 経営成績及び財政状態

(1) 経営成績

当中間期におけるわが国経済は、設備投資や個人消費といった国内民間需要が牽引し、着実な回復基調で推移しました。個人消費は雇用と賃金の改善傾向を反映して底堅く推移しましたが、小売業界においては天候不順の影響を受けた他、各業態での競争激化など厳しい経営環境が続きました。

こうした中当社は、店舗運営においてはシーズン商品展開の強化や発注・陳列・接客・店舗クリーンといった基本の徹底に努めましたが、天候不順の影響や、一部商品の欠品が続いたこと等から既存店売上高が低迷いたしました。なお、既存店活性化策として新価格帯の商品を扱う「生活雑貨」の導入実験を開始しております。出店については、当初の方針に従い大都市圏100坪タイプの出店を進め、当中間期の新規出店数は61店舗と計画の55店舗を上回りました。しかしながら順調な新規出店も既存店の落ち込みをカバーするに至らず、売上高は計画を下回りました。商品調達面では、昨年来取り組んできた売上総利益率改善策が効を奏し、計画に沿った売上総利益率の改善を実現いたしました。一方、経費については出店増により出店経費が増加したほか、既存店売上高低下による人件費や家賃の固定費負担増により売上高経費率が増加しました。なお、営業外収益・費用においては円高進行に伴うデリバティブ評価損計上により想定を1億2百万円上回る費用増となり、特別利益・損失においては退店店舗の1店舗当たり損失額と不採算店舗の減損損失計上額が想定を上回ったため想定を57百万円上回る損失となりました。

以上の結果、当中間期におきましては、売上高335億44百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益13億88百万円（前年同期比2.2%減）、経常利益13億23百万円（前年同期比11.7%減）、中間純利益2億86百万円（前年同期比51.0%減）となりました。なお、売上高の構成は、直営店売上高291億24百万円（前年同期比1.3%増）、構成比率は86.8%（前年同期比0.8ポイント増）、F C店売上高43億20百万円（前年同期比6.4%減）、構成比率は12.9%（前年同期比0.9ポイント減）となっております。

今後のわが国経済につきましては、拡大傾向が続く設備投資を中心として内外需ともバランス良く増加し、息の長い景気回復が続くものと見られます。個人消費については、全体として所得の改善が見込まれる中、個々人の所得格差もあり、高額品と低価格品という消費動向の二極化傾向がより鮮明になっていく可能性があります。当社は、低価格品を選好する消費者ニーズを一層きめ細かく掘り起こすとともに、消費者ニーズの変化へ柔軟に対応してまいります。出店については、出店余地はまだ十分残されておりますが、新業態の導入と既存店の立て直しに注力するため下期は出店ペースを抑制いたします。新業態につきましては、「生活雑貨」コーナー・SHOPの既存店への導入を重点施策として進めてまいります。「生活雑貨」は今までの100円ショップにはなかったアイテム、よりハイグレードなアイテムを300円、500円といった価格帯で提供するする業態で、100円ショップユーザーのニーズの変化に対応するとともに、新たな客層を取り込み既存店を活性化することを導入目的としております。更に、シンプルなデザインと自然な色使いをテーマとする「Natural Zakka」等、新たなショップブランドを立ち上げ、多様化する消費者ニーズに対応してまいります。商品調達面では、中国事務所を開設し一段と生産現場に密着することで、商品企画力の強化と調達コスト削減を推進します。これらの施策は既に動きはじめておりますが、本格的な業績への寄与は来期以降になる見通しです。

以上により、通期の業績は、売上高681億40百万円（前期比3.5%増）、経常利益25億36百万円（前期比14.2%減）、当期純利益7億22百万円（前期比37.0%減）を見込みます。

(出店計画)

| | 平成18年11月期 | | |
|---------|-----------|------|------|
| | 上期実績 | 下期計画 | 通 期 |
| 新規出店 | 61 | 40 | 101 |
| 期末店舗数 | 797 | 817 | 817 |
| 期末店舗数増減 | + 39 | + 20 | + 59 |

(2) 財政状態

当中間期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により11億68百万円増加、投資活動により10億88百万円減少、財務活動により1億27百万円減少し、期末残高38億89百万円と前期末比42百万円減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は11億68百万円（前年同期比80百万円減）となりました。

加算項目は税引前中間純利益7億57百万円（前年同期比5億41百万円減）、減価償却費4億38百万円（前年同期比42百万円減）、固定資産減損損失4億30百万円等であり、減算項目は法人税等の支払額が8億68百万円（前年同期比3億24百万円増）の他、未払金の減少1億16百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は10億88百万円（前年同期比4億32百万円増）と、新規出店の増加に伴い支出が増加しております。

内訳は、新規出店等による有形固定資産の取得8億90百万円（前年同期比3億75百万円増）、敷金保証金の差入による支出3億30百万円（前年同期比1億42百万円増）等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は1億27百万円。内訳は、株式の発行による収入27百万円及び配当金の支払額1億55百万円であります。

キャッシュ・フロー指標の推移

| | 平成16年 5月中間期 | 平成16年 11月期 | 平成17年 5月中間期 | 平成17年 11月期 | 平成18年 5月中間期 |
|---------------------|----------------|---------------|----------------|---------------|----------------|
| 自己資本比率（%） | 36.6 | 37.1 | 38.6 | 39.4 | 41.8 |
| 時価ベースの自己資本比率（%） | 105.2 | 90.3 | 77.3 | 89.7 | 94.3 |
| 債務償還年数（年） | — | — | — | 1.7 | — |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍） | — | — | — | — | — |

（注） 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／通期営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。

※ 債務償還年数は、平成16年11月期は営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

※ インタレスト・カバレッジ・レシオは、各期とも利払いがゼロのため記載しておりません。

4. 個別中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

| 区分 | 注記 番号 | 前中間会計期間末 (平成17年5月31日) | | 当中間会計期間末 (平成18年5月31日) | | 前事業年度の要約貸借対照表 (平成17年11月30日) | |
|-----------------------------------|----------|--------------------------|------------|--------------------------|------------|--------------------------------|------------|
| | | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 金額 (千円) | 構成比 (%) |
| (資産の部) | | | | | | | |
| I 流動資産 | | | | | | | |
| 1. 現金預金 | | 3,592,041 | | 3,894,202 | | 3,947,840 | |
| 2. 受取手形 | | — | | 2,695 | | 20,478 | |
| 3. 売掛金 | | 395,270 | | 424,646 | | 433,666 | |
| 4. たな卸資産 | | 5,716,653 | | 6,021,398 | | 6,033,625 | |
| 5. 未収入金 | | 2,429,052 | | 2,272,357 | | 2,431,891 | |
| 6. 繰延税金資産 | | 184,829 | | 161,910 | | 206,178 | |
| 7. その他 | | 312,625 | | 302,581 | | 308,885 | |
| 8. 貸倒引当金 | | △6,535 | | △4,655 | | △4,953 | |
| 流動資産合計 | | 12,623,936 | 56.1 | 13,075,137 | 56.1 | 13,377,613 | 57.0 |
| II 固定資産 | | | | | | | |
| 1. 有形固定資産 | | | | | | | |
| (1) 建物 | ※1 | 3,403,653 | | 3,268,566 | | 3,498,742 | |
| (2) 器具備品 | ※1 | 1,972,381 | | 1,934,781 | | 1,896,221 | |
| (3) 土地 | | 191,213 | | 191,213 | | 191,213 | |
| 有形固定資産合計 | | 5,567,248 | 24.7 | 5,394,561 | 23.2 | 5,586,177 | 23.8 |
| 2. 無形固定資産 | | 154,295 | 0.7 | 119,047 | 0.5 | 136,601 | 0.6 |
| 3. 投資その他の資産 | | | | | | | |
| (1) 投資有価証券 | | 26,600 | | 28,650 | | 33,600 | |
| (2) 破産債権、更生債権 その他これらに準ず る債権 | | 16,642 | | 3,314 | | 3,314 | |
| (3) 敷金保証金 | | 3,836,744 | | 4,175,981 | | 4,022,355 | |
| (4) 繰延税金資産 | | 64,869 | | 258,281 | | 64,673 | |
| (5) その他 | | 235,211 | | 252,848 | | 246,062 | |
| (6) 貸倒引当金 | | △16,247 | | △2,909 | | △2,911 | |
| 投資その他の資産合計 | | 4,163,820 | 18.5 | 4,716,166 | 20.2 | 4,367,094 | 18.6 |
| 固定資産合計 | | 9,885,363 | 43.9 | 10,229,774 | 43.9 | 10,089,872 | 43.0 |
| 資産合計 | | 22,509,300 | 100.0 | 23,304,912 | 100.0 | 23,467,486 | 100.0 |

| 区分 | 注記 番号 | 前中間会計期間末 (平成17年5月31日) | | 当中間会計期間末 (平成18年5月31日) | | 前事業年度の要約貸借対照表 (平成17年11月30日) | |
|-----------------|----------|--------------------------|------------|--------------------------|------------|--------------------------------|------------|
| | | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 金額 (千円) | 構成比 (%) |
| (負債の部) | | | | | | | |
| I 流動負債 | | | | | | | |
| 1. 支払手形 | | 753,319 | | 923,593 | | 702,265 | |
| 2. 買掛金 | | 6,392,407 | | 6,356,481 | | 6,457,704 | |
| 3. 未払金 | | 545,402 | | 631,674 | | 793,473 | |
| 4. 未払費用 | | 621,242 | | 586,160 | | 603,860 | |
| 5. 未払法人税等 | | 800,865 | | 670,173 | | 922,656 | |
| 6. 設備支払手形 | | 66 | | — | | 6 | |
| 7. その他 | | 264,697 | | 266,928 | | 298,041 | |
| 流動負債合計 | | 9,378,001 | 41.7 | 9,435,011 | 40.5 | 9,778,007 | 41.7 |
| II 固定負債 | | | | | | | |
| 1. 新株予約権付社債 | | 4,000,000 | | 3,603,000 | | 3,970,000 | |
| 2. 退職給付引当金 | | 148,761 | | 202,220 | | 162,806 | |
| 3. その他 | | 293,400 | | 316,500 | | 307,700 | |
| 固定負債合計 | | 4,442,161 | 19.7 | 4,121,720 | 17.7 | 4,440,506 | 18.9 |
| 負債合計 | | 13,820,163 | 61.4 | 13,556,731 | 58.2 | 14,218,513 | 60.6 |
| (資本の部) | | | | | | | |
| I 資本金 | | 2,485,086 | 11.1 | — | — | 2,521,062 | 10.8 |
| II 資本剰余金 | | | | | | | |
| 1. 資本準備金 | | 2,522,456 | | — | | 2,558,432 | |
| 資本剰余金合計 | | 2,522,456 | 11.2 | — | — | 2,558,432 | 10.9 |
| III 利益剰余金 | | | | | | | |
| 1. 利益準備金 | | 6,875 | | — | | 6,875 | |
| 2. 中間(当期)未処分利益 | | 3,668,906 | | — | | 4,152,638 | |
| 利益剰余金合計 | | 3,675,782 | 16.3 | — | — | 4,159,513 | 17.7 |
| IV その他有価証券評価差額金 | | 5,812 | 0.0 | — | — | 9,964 | 0.0 |
| 資本合計 | | 8,689,137 | 38.6 | — | — | 9,248,972 | 39.4 |
| 負債・資本合計 | | 22,509,300 | 100.0 | — | — | 23,467,486 | 100.0 |
| (純資産の部) | | | | | | | |
| I 株主資本 | | | | | | | |
| 1 資本金 | | — | — | 2,718,759 | 11.7 | — | — |
| 2 資本剰余金 | | | | | | | |
| (1) 資本準備金 | | — | | 2,756,129 | | — | |
| 資本剰余金合計 | | — | — | 2,756,129 | 11.8 | — | — |
| 3 利益剰余金 | | | | | | | |
| (1) 利益準備金 | | — | | 6,875 | | — | |
| (2) 繰越利益剰余金 | | — | | 4,261,456 | | — | |
| 利益剰余金合計 | | — | — | 4,268,332 | 18.3 | — | — |

| 区分 | 注記 番号 | 前中間会計期間末 (平成17年5月31日) | | 当中間会計期間末 (平成18年5月31日) | | 前事業年度の要約貸借対照表 (平成17年11月30日) | |
|--------------------|----------|--------------------------|------------|--------------------------|------------|--------------------------------|------------|
| | | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 金額 (千円) | 構成比 (%) |
| 4 自己株式 | | | — | | △398 | | — |
| 株主資本合計 | | | — | | 9,742,822 | | — |
| II 評価・換算差額等 | | | | | | | |
| 1 その他有価証券評価差 額金 | | | — | | 7,028 | | — |
| 2 繰延ヘッジ損益 | | | — | | △1,669 | | — |
| 評価・換算差額等合計 | | | — | | 5,358 | | — |
| 純資産合計 | | | — | | 9,748,181 | | — |
| 負債純資産合計 | | | — | | 23,304,912 | | — |

(2) 中間損益計算書

| 区分 | 注記 番号 | 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | | 前事業年度の要約損益計算書 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) | |
|----------------|----------|---|------------|---|------------|--|------------|
| | | 金額 (千円) | 百分比 (%) | 金額 (千円) | 百分比 (%) | 金額 (千円) | 百分比 (%) |
| I 売上高 | | 33,421,945 | 100.0 | 33,544,938 | 100.0 | 65,852,161 | 100.0 |
| II 売上原価 | | 21,866,733 | 65.4 | 21,601,028 | 64.4 | 42,806,681 | 65.0 |
| 売上総利益 | | 11,555,211 | 34.6 | 11,943,909 | 35.6 | 23,045,479 | 35.0 |
| III 販売費及び一般管理費 | | 10,135,248 | 30.3 | 10,555,387 | 31.5 | 20,283,712 | 30.8 |
| 営業利益 | | 1,419,963 | 4.3 | 1,388,521 | 4.1 | 2,761,766 | 4.2 |
| IV 営業外収益 | ※1 | 97,631 | 0.3 | 68,752 | 0.2 | 217,250 | 0.3 |
| V 営業外費用 | ※2 | 19,427 | 0.1 | 133,988 | 0.4 | 23,031 | 0.0 |
| 経常利益 | | 1,498,167 | 4.5 | 1,323,285 | 3.9 | 2,955,985 | 4.5 |
| VI 特別利益 | ※3 | 3,916 | 0.0 | 40,446 | 0.1 | 120,006 | 0.2 |
| VII 特別損失 | ※4・5 | 203,165 | 0.6 | 606,710 | 1.8 | 593,846 | 0.9 |
| 税引前中間(当期)純利益 | | 1,298,918 | 3.9 | 757,021 | 2.2 | 2,482,146 | 3.8 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 748,952 | | 616,497 | | 1,395,435 | |
| 法人税等調整額 | | △35,283 | 2.1 | △146,180 | 1.4 | △59,284 | 2.0 |
| 中間(当期)純利益 | | 585,249 | 1.8 | 286,704 | 0.8 | 1,145,995 | 1.8 |
| 前期繰越利益 | | 3,083,657 | | — | | 3,083,657 | |
| 中間配当額 | | — | | — | | 77,015 | |
| 中間(当期)未処分利益 | | 3,668,906 | | — | | 4,152,638 | |

(3) 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自平成17年12月1日 至平成18年5月31日）

| | 株主資本 | | | | | | | | 株主資本合計 |
|------------------------------------|-----------|-----------|----------|-----------|-------|---------------------|-----------|------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | 自己株式 | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 平成17年11月30日 残高 (千円) | 2,521,062 | 2,558,432 | — | 2,558,432 | 6,875 | 4,152,638 | 4,159,513 | — | 9,239,008 |
| 中間会計期間中の変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 (千円) | 197,697 | 197,697 | — | 197,697 | — | — | — | — | 395,394 |
| 剰余金の配当 (千円) | — | — | — | — | — | △177,886 | △177,886 | — | △177,886 |
| 中間純利益 (千円) | — | — | — | — | — | 286,704 | 286,704 | — | 286,704 |
| 自己株式の処分 (千円) | — | — | — | — | — | — | — | △398 | △398 |
| 株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額 (純額) (千円) | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 中間会計期間中の変動額合計 (千円) | 197,697 | 197,697 | — | 197,697 | — | 108,818 | 108,818 | △398 | 503,813 |
| 平成18年5月31日 残高 (千円) | 2,718,759 | 2,756,129 | — | 2,756,129 | 6,875 | 4,261,456 | 4,268,332 | △398 | 9,742,822 |

| | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|------------------------------------|--------------|---------|------------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 評価・換算差額等合計 | |
| 平成17年11月30日 残高 (千円) | 9,964 | — | 9,964 | 9,248,972 |
| 中間会計期間中の変動額 | | | | |
| 新株の発行 (千円) | — | — | — | 395,394 |
| 剰余金の配当 (千円) | — | — | — | △177,886 |
| 中間純利益 (千円) | — | — | — | 286,704 |
| 自己株式の処分 (千円) | — | — | — | △398 |
| 株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額 (純額) (千円) | △2,935 | △1,669 | △4,605 | △4,605 |
| 中間会計期間中の変動額合計 (千円) | △2,935 | △1,669 | △4,605 | 499,208 |
| 平成18年5月31日 残高 (千円) | 7,028 | △1,669 | 5,358 | 9,748,181 |

(4) 中間キャッシュ・フロー計算書

| | | 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度の要約 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) |
|--------------------|----------|---|---|---|
| 区分 | 注記 番号 | 金額 (千円) | 金額 (千円) | 金額 (千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 税引前中間 (当期) 純利益 | | 1,298,918 | 757,021 | 2,482,146 |
| 減価償却費 | | 481,619 | 438,957 | 995,929 |
| 長期前払費用償却費 | | 19,057 | 23,020 | 39,994 |
| その他販管費 | | 43,110 | — | 86,440 |
| 貸倒引当金の減少額 | | △2,081 | △301 | △16,999 |
| 退職給付引当金の増加額 | | 18,890 | 39,413 | 32,934 |
| 受取利息及び受取配当金 | | △8,144 | △7,990 | △17,839 |
| デリバティブ差損益 (△益) | | △41,315 | 125,038 | △96,548 |
| 為替差益 | | △6,062 | △2,492 | △7,835 |
| その他の営業外費用 | | 86 | — | — |
| 固定資産売却損 | | 4,095 | — | 17,336 |
| 前期損益修正損 | | — | — | 3,686 |
| 固定資産除却損 | | 115,568 | 173,933 | 302,110 |
| 固定資産減損損失 | | — | 430,225 | — |
| 長期前払費用償却費 (特別損失) | | 4,953 | 2,551 | 13,055 |
| 売上債権の減少額 (△増加額) | | △1,252 | 26,803 | △60,126 |
| 未収入金の減少額 (△増加額) | | 640 | 159,834 | △10,359 |
| 棚卸資産の減少額 (△増加額) | | 141,227 | 12,226 | △175,744 |
| 仕入債務の増加額 (△減少額) | | △187,379 | 120,104 | △173,137 |
| 貸付金 (割賦売上債権) への振替額 | | △1,735 | — | △2,435 |
| 未払金の増加額 (△減少額) | | 66,977 | △116,840 | 160,749 |
| その他資産の純増加額 | | △84,953 | △2,124 | △62,464 |
| その他負債の純増加額 (△減少額) | | △58,341 | △125,829 | 3,715 |
| 役員賞与の支払額 | | △17,700 | △22,000 | △17,700 |
| 小計 | | 1,786,180 | 2,031,552 | 3,496,908 |
| 利息及び配当金の受取額 | | 6,805 | 6,076 | 14,118 |
| 法人税等の還付額 | | 591 | — | 591 |
| 法人税等の支払額 | | △544,603 | △868,980 | △1,112,676 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 1,248,973 | 1,168,649 | 2,398,942 |

| | | 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度の要約 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) |
|--------------------------|----------|---|---|---|
| 区分 | 注記 番号 | 金額 (千円) | 金額 (千円) | 金額 (千円) |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | | △515,150 | △890,474 | △1,088,895 |
| 有形固定資産の売却による収入 | | — | — | 17,500 |
| 無形固定資産の取得による支出 | | △1,015 | △8,384 | △8,665 |
| 貸付金(割賦売上債権)の回収による収入 | | 3,871 | 3,890 | 7,742 |
| 長期前払費用の支出 | | △8,606 | △9,085 | △54,899 |
| 出資金の差入による支出 | | — | △120 | △20 |
| 敷金保証金の差入による支出 | | △187,627 | △330,549 | △627,881 |
| 敷金保証金の返還による収入 | | 43,778 | 135,337 | 332,404 |
| その他投資等の支出 | | △838 | △72 | △1,672 |
| その他投資等の収入 | | 9,887 | 11,000 | 9,896 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △655,700 | △1,088,457 | △1,414,490 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 株式の発行による収入 | | 40,920 | 27,995 | 82,872 |
| 配当金の支払額 | | △114,127 | △155,886 | △191,142 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | △73,207 | △127,890 | △108,270 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | 6,062 | 5,088 | 5,144 |
| V 現金及び現金同等物の増加額(△減少額) | | 526,128 | △42,610 | 881,326 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | | 3,050,456 | 3,931,783 | 3,050,456 |
| VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | ※1 | 3,576,584 | 3,889,173 | 3,931,783 |

中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

| 項目 | 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) |
|------------------|--|--|--|
| 1. 資産の評価基準及び評価方法 | <p>(1) 有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。</p> <p>(2) デリバティブ 時価法を採用しております。</p> <p>(3) たな卸資産 商品 本部在庫品：総平均法による原価法 店舗在庫品：売価還元法による原価法</p> | <p>(1) 有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 同左</p> <p>(2) デリバティブ 同左</p> <p>(3) たな卸資産 商品 同左</p> | <p>(1) 有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 当事業年度末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。</p> <p>(2) デリバティブ 同左</p> <p>(3) たな卸資産 商品 同左</p> |
| 2. 固定資産の減価償却の方法 | <p>(1) 有形固定資産 （投資不動産を含む） 定率法による減価償却を実施しております。 ただし、平成10年4月1日以降取得の建物（建物附属設備を除く）については、定額法にて実施しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 ・建物14年～28年 ・建物附属設備 3年～24年 ・器具備品3年～20年 ・内部造作3年～22年</p> <p>(2) 無形固定資産 ソフトウェア（自社利用） 社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。</p> <p>(3) 長期前払費用 定額法によっております。</p> | <p>(1) 有形固定資産 （投資不動産を含む） 定率法による減価償却を実施しております。 ただし、平成10年4月1日以降取得の建物（建物附属設備を除く）については、定額法にて実施しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 ・建物14年～28年 ・建物附属設備 3年～24年 ・器具備品3年～20年 ・内部造作3年～22年</p> <p>(2) 無形固定資産 同左</p> <p>(3) 長期前払費用 同左</p> | <p>(1) 有形固定資産 （投資不動産を含む） 定率法による減価償却を実施しております。 ただし、平成10年4月1日以降取得の建物（建物附属設備を除く）については、定額法にて実施しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 ・建物14年～28年 ・建物附属設備 3年～24年 ・器具備品3年～20年 ・内部造作3年～22年</p> <p>(2) 無形固定資産 同左</p> <p>(3) 長期前払費用 同左</p> |
| 3. 繰延資産の処理方法 | <p>(1) 新株発行費 支出時に全額費用として処理しております。</p> | <p>(1) 新株発行費 _____</p> | <p>(1) 新株発行費 _____</p> |

| 項目 | 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) |
|---------------------------|---|---|--|
| 4. 引当金の計上基準 | <p>(1) 貸倒引当金 売上債権及び貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。なお、数理計算上の差異については翌期において一括して費用処理することとしております。</p> | <p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 退職給付引当金 同左</p> | <p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、数理計算上の差異については翌期において一括して費用処理することとしております。</p> |
| 5. 外貨建の資産又は、負債の本邦通貨への換算基準 | <p>外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。</p> | <p>同左</p> | <p>外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。</p> |
| 6. リース取引の処理方法 | <p>リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> | <p>同左</p> | <p>同左</p> |

| 項目 | 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) |
|--|---|---|--|
| 7. ヘッジ会計の方法 | ————— | <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。また、為替変動リスクのヘッジについて振当処理の要件を充たしている場合には振当処理を採用しております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 当事業年度にヘッジ会計を適用したヘッジ対象とヘッジ手段は以下のとおりであります。</p> <p>ヘッジ手段… 為替予約 ヘッジ対象… 外貨建予定取引</p> <p>(3) ヘッジ方針 為替予約は、輸入仕入に係る為替変動リスクをヘッジする目的で外貨建予定取引の決済に必要な範囲内で行っております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ手段の取引内容とヘッジ対象に関する重要な条件が同一であり、かつ、ヘッジ開始時及びその後も継続して為替変動又はキャッシュフロー変動を完全に相殺するものと想定することができるため、ヘッジの有効性の判定は省略しております。</p> | 同左 |
| 8. 中間キャッシュ・フロー計算書（キャッシュ・フロー計算書）における資金の範囲 | 手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。 | 同左 | 同左 |
| 9. その他中間財務諸表（財務諸表）作成のための基本となる重要な事項 | (1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。 なお、仮払消費税等と仮受消費税等は相殺のうえ、流動負債の「その他」に含めて表示しております。 | (1) 消費税等の会計処理 同左 | (1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。 |

中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

| 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) |
|---|---|--|
| — | <p>(固定資産の減損に係る会計基準)</p> <p>当中間会計期間より、固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日）を適用しております。これにより当中間会計期間の営業利益、経常利益は8,199千円増加し、税引前中間純利益が422,025千円減少しております。なお、減損損失累計額については、資産の金額から直接控除しております。</p> | — |
| — | <p>(役員賞与に関する会計基準)</p> <p>当中間会計期間より、「役員賞与に関する会計基準」（企業会計基準第4号 平成17年11月29日）を適用しております。なお、当中間会計期間においては、役員賞与の金額を合理的に見積ることが困難であるため、費用処理しておりません。</p> | — |
| — | <p>(中間貸借対照表「純資産の部」表示)</p> <p>当中間会計期間より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号 平成17年12月9日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日）を適用しております。従来の資本の部の合計に相当する金額は9,749,850千円です。なお、中間財務諸表等規則の改正により、当中間会計期間における中間貸借対照表の純資産の部については、改正後の中間財務諸表等規則により作成しております。</p> | — |
| — | <p>(株主資本等変動計算書に関する会計基準)</p> <p>当中間会計期間より、株主資本等変動計算書に関する会計基準（「株主資本等変動計算書に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第9号 平成17年12月27日））を適用しております。</p> | — |

追加情報

該当事項はありません。

注記事項

(中間貸借対照表関係)

| 前中間会計期間末 (平成17年5月31日) | 当中間会計期間末 (平成18年5月31日) | 前事業年度末 (平成17年11月30日) |
|---|---|---|
| <p>※1. (1)有形固定資産の 千円 減価償却累計額 2,809,642 (2)有形固定資産の 千円 減損損失累計額 -</p> <p>2. 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当中間会計期間末の借入未実行残高は次の通りであります。</p> <p style="text-align: right;">千円</p> <p>当座貸越極度額 4,000,000 借入実行残高 - <u>差引額 4,000,000</u></p> | <p>※1. (1)有形固定資産の 千円 減価償却累計額 3,599,684 (2)有形固定資産の 千円 減損損失累計額 423,913</p> <p>2. 同左</p> | <p>※1. (1)有形固定資産の 千円 減価償却累計額 3,264,332 (2)有形固定資産の 千円 減損損失累計額 -</p> <p>2. 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次の通りであります。</p> <p style="text-align: right;">千円</p> <p>当座貸越極度額 4,000,000 借入実行残高 - <u>差引額 4,000,000</u></p> |

(中間損益計算書関係)

| 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|-----------|----|----|-------|----|----|----------|------|----|----|----------|-------|----|----|-----------|-------|----|----|----------|------|----|----|----------|-------|----|----|----------|-----------|
| ※1. 営業外収益のうち 主要なもの 千円 受取利息 8,144 事務手数料収入等 30,811 デリバティブ差益 41,315 | ※1. 営業外収益のうち 主要なもの 千円 受取利息 7,990 事務手数料収入等 32,957 為替差益 10,202 | ※1. 営業外収益のうち 主要なもの 千円 受取利息 17,339 事務手数料収入等 62,213 投資不動産賃貸料 16,380 デリバティブ差益 96,548 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※2. 営業外費用のうち 主要なもの 千円 為替差損 11,015 | ※2. 営業外費用のうち 主要なもの 千円 デリバティブ差損 125,038 | ※2. 営業外費用のうち 主要なもの 千円 為替差損 4,176 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※3. 特別利益のうち 主要なもの 千円 営業補償金収入 1,800 貸倒引当金戻入益 2,116 | ※3. 特別利益のうち 主要なもの 千円 営業補償金収入 40,144 | ※3. 特別利益のうち 主要なもの 千円 営業補償金収入 115,603 貸倒引当金戻入益 4,402 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※4. 特別損失のうち 主要なもの 千円 固定資産除却損 194,116 | ※4. 特別損失のうち 主要なもの 千円 固定資産除却損 173,933 減損損失 430,225 | ※4. 特別損失のうち 主要なもの 千円 固定資産除却損 559,276 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※5. _____ | ※5. 減損損失 当中間会計期間において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。 <table border="1" data-bbox="587 1115 1007 1339"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>主な用途</th> <th>種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道5件</td> <td>店舗</td> <td>建物</td> <td>52,204千円</td> </tr> <tr> <td>東北7件</td> <td>店舗</td> <td>建物</td> <td>32,323千円</td> </tr> <tr> <td>関東42件</td> <td>店舗</td> <td>建物</td> <td>192,784千円</td> </tr> <tr> <td>中部11件</td> <td>店舗</td> <td>建物</td> <td>82,646千円</td> </tr> <tr> <td>近畿7件</td> <td>店舗</td> <td>建物</td> <td>48,926千円</td> </tr> <tr> <td>その他2件</td> <td>店舗</td> <td>建物</td> <td>21,339千円</td> </tr> </tbody> </table> 当社は、原則として各店舗を基本単位としてグルーピングしております。その結果、継続して営業損失を計上している店舗について建物の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額430,225千円を特別損失に計上しました。なお、当該資産の回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを税引前資本コスト（8.7%）で割り引いて算出しております。 | 地域 | 主な用途 | 種類 | 金額 | 北海道5件 | 店舗 | 建物 | 52,204千円 | 東北7件 | 店舗 | 建物 | 32,323千円 | 関東42件 | 店舗 | 建物 | 192,784千円 | 中部11件 | 店舗 | 建物 | 82,646千円 | 近畿7件 | 店舗 | 建物 | 48,926千円 | その他2件 | 店舗 | 建物 | 21,339千円 | ※5. _____ |
| 地域 | 主な用途 | 種類 | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北海道5件 | 店舗 | 建物 | 52,204千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東北7件 | 店舗 | 建物 | 32,323千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関東42件 | 店舗 | 建物 | 192,784千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中部11件 | 店舗 | 建物 | 82,646千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 近畿7件 | 店舗 | 建物 | 48,926千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他2件 | 店舗 | 建物 | 21,339千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 減価償却実施額 千円 有形固定資産 455,663 無形固定資産 25,077 | 6. 減価償却実施額 千円 有形固定資産 412,142 無形固定資産 25,937 | 6. 減価償却実施額 千円 有形固定資産 943,751 無形固定資産 50,421 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間(自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

| | 前事業年度末 株式数(株) | 当中間会計期間 増加株式数(株) | 当中間会計期間 減少株式数(株) | 当中間会計期間末 株式数(株) |
|----------|------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式(注)1 | 155,886 | 3,318 | — | 159,204 |
| 合計 | 155,886 | 3,318 | — | 159,204 |
| 自己株式 | | | | |
| 普通株式(注)2 | — | 2 | — | 2 |
| 合計 | — | 2 | — | 2 |

(注) 1. 普通株式の発行済株式総数の増加3,318株は、ストックオプションとしての新株予約権の権利行使による新株の発行による増加261株、転換社債に付される新株予約権の権利行使による増加3,057株であります。

(注) 2. 普通株式の自己株式の株式数の増加2株は、端株の買取による増加であります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株あたりの配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|----------------|------------------|-------------|------------|
| 平成18年2月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 155,886 | 1,000 | 平成17年11月30日 | 平成18年2月27日 |

(2) 基準日が当中間期に属する配当のうち、配当の効力発生日が中間期末後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|--------------------|-------|----------------|-------|-----------------|------------|------------|
| 平成18年7月13日 取締役会 | 普通株式 | 119,401 | 利益剰余金 | 750 | 平成18年5月31日 | 平成18年8月25日 |

(中間キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) |
|---|--|--|
| ※1. 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成17年5月31日現在) 千円 現金預金勘定 3,592,041 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 Δ 15,456 現金及び現金同等物 <u>3,576,584</u> | ※1. 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成18年5月31日現在) 千円 現金預金勘定 3,894,202 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 Δ 5,029 現金及び現金同等物 <u>3,889,173</u> | ※1. 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成17年11月30日現在) 千円 現金預金勘定 3,947,840 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 Δ 16,056 現金及び現金同等物 <u>3,931,783</u> |
| 2. _____ | 2. 重要な非資金取引の内容 新株予約権付社債の転換 新株予約権付社債の転換による資本金増加額 183,458千円 新株予約権付社債の転換による資本準備金増加額 183,458千円 その他 84千円 新株予約権付社債の転換による新株予約権付社債の減少額 367,000千円 | 2. _____ |

① リース取引

| 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|--------------------|-------------------|------|---------|---------|---------|----|---------|---------|---------|---|--|-----------------|--------------------|-------------------|------|---------|---------|--------|----|---------|---------|--------|---|--|-----------------|--------------------|-----------------|------|---------|---------|---------|----|---------|---------|---------|
| リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額 | 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額 | 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 20%;">取得価額相当額 (千円)</th> <th style="width: 20%;">減価償却累計額相当額 (千円)</th> <th style="width: 20%;">中間期末残高相当額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具備品</td> <td style="text-align: right;">914,849</td> <td style="text-align: right;">712,100</td> <td style="text-align: right;">202,749</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">914,849</td> <td style="text-align: right;">712,100</td> <td style="text-align: right;">202,749</td> </tr> </tbody> </table> | | 取得価額相当額 (千円) | 減価償却累計額相当額 (千円) | 中間期末残高相当額 (千円) | 器具備品 | 914,849 | 712,100 | 202,749 | 合計 | 914,849 | 712,100 | 202,749 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 20%;">取得価額相当額 (千円)</th> <th style="width: 20%;">減価償却累計額相当額 (千円)</th> <th style="width: 20%;">中間期末残高相当額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具備品</td> <td style="text-align: right;">900,414</td> <td style="text-align: right;">863,977</td> <td style="text-align: right;">36,437</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">900,414</td> <td style="text-align: right;">863,977</td> <td style="text-align: right;">36,437</td> </tr> </tbody> </table> | | 取得価額相当額 (千円) | 減価償却累計額相当額 (千円) | 中間期末残高相当額 (千円) | 器具備品 | 900,414 | 863,977 | 36,437 | 合計 | 900,414 | 863,977 | 36,437 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 20%;">取得価額相当額 (千円)</th> <th style="width: 20%;">減価償却累計額相当額 (千円)</th> <th style="width: 20%;">期末残高相当額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具備品</td> <td style="text-align: right;">914,849</td> <td style="text-align: right;">803,585</td> <td style="text-align: right;">111,264</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">914,849</td> <td style="text-align: right;">803,585</td> <td style="text-align: right;">111,264</td> </tr> </tbody> </table> | | 取得価額相当額 (千円) | 減価償却累計額相当額 (千円) | 期末残高相当額 (千円) | 器具備品 | 914,849 | 803,585 | 111,264 | 合計 | 914,849 | 803,585 | 111,264 |
| | 取得価額相当額 (千円) | 減価償却累計額相当額 (千円) | 中間期末残高相当額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 914,849 | 712,100 | 202,749 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 914,849 | 712,100 | 202,749 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 取得価額相当額 (千円) | 減価償却累計額相当額 (千円) | 中間期末残高相当額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 900,414 | 863,977 | 36,437 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 900,414 | 863,977 | 36,437 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 取得価額相当額 (千円) | 減価償却累計額相当額 (千円) | 期末残高相当額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 914,849 | 803,585 | 111,264 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 914,849 | 803,585 | 111,264 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 未経過リース料中間期末残高相当額 | 2. 未経過リース料中間期末残高相当額 | 2. 未経過リース料期末残高相当額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 千円 | 千円 | 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年内 180,290 | 1年内 39,946 | 1年内 121,761 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年超 39,946 | 1年超 — | 1年超 352 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 220,236 | 合計 39,946 | 合計 122,113 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 | 3. 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 | 3. 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 千円 | 千円 | 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支払リース料 102,122 | 支払リース料 84,000 | 支払リース料 204,244 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費相当額 91,484 | 減価償却費相当額 74,826 | 減価償却費相当額 182,969 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支払利息相当額 6,133 | 支払利息相当額 1,833 | 支払利息相当額 10,131 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 減価償却費相当額の算定方法 | 4. 減価償却費相当額の算定方法 | 4. 減価償却費相当額の算定方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。 | 同左 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 利息相当額の算定方法 | 5. 利息相当額の算定方法 | 5. 利息相当額の算定方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。 | 同左 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

② 有価証券

(前中間会計期間末) (平成17年5月31日現在)

その他有価証券で時価のあるもの

| | 前中間会計期間末 (平成17年5月31日) | | |
|----|-----------------------|---------------------|------------|
| | 取得原価 (千円) | 中間貸借対照表 計上額 (千円) | 差額 (千円) |
| 株式 | 16,800 | 26,600 | 9,800 |
| 合計 | 16,800 | 26,600 | 9,800 |

(当中間会計期間末) (平成18年5月31日現在)

その他有価証券で時価のあるもの

| | 当中間会計期間末 (平成18年5月31日) | | |
|----|-----------------------|---------------------|------------|
| | 取得原価 (千円) | 中間貸借対照表 計上額 (千円) | 差額 (千円) |
| 株式 | 16,800 | 28,650 | 11,850 |
| 合計 | 16,800 | 28,650 | 11,850 |

(前事業年度末) (平成17年11月30日現在)

その他有価証券で時価のあるもの

| | 前事業年度末 (平成17年11月30日) | | |
|----|----------------------|------------------|------------|
| | 取得原価 (千円) | 貸借対照表計上額 (千円) | 差額 (千円) |
| 株式 | 16,800 | 33,600 | 16,800 |
| 合計 | 16,800 | 33,600 | 16,800 |

③ デリバティブ取引

(前中間会計期間末) (平成17年5月31日現在)

通貨関連

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益の状況

| 対象物の種類 | 取引の種類 | 契約額等 (千円) | 時価 (千円) | 評価損益 (千円) |
|--------|---------------|-----------|---------|-----------|
| 通貨 | スワップ取引 米ドル | 5,046,000 | △51,960 | △51,960 |
| 合計 | | 5,046,000 | △51,960 | △51,960 |

(当中間会計期間末) (平成18年5月31日現在)

通貨関連

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益の状況

| 対象物の種類 | 取引の種類 | 契約額等 (千円) | 時価 (千円) | 評価損益 (千円) |
|--------|---------------|-----------|----------|-----------|
| 通貨 | スワップ取引 米ドル | 6,526,380 | △121,765 | △121,765 |
| 合計 | | 6,526,380 | △121,765 | △121,765 |

(前事業年度末) (平成17年11月30日現在)

通貨関連

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益の状況

| 対象物の種類 | 取引の種類 | 契約額等 (千円) | 時価 (千円) | 評価損益 (千円) |
|--------|---------------|-----------|---------|-----------|
| 通貨 | スワップ取引 米ドル | 6,769,104 | 3,273 | 3,273 |
| 合計 | | 6,769,104 | 3,273 | 3,273 |

④ ストックオプション等関係

当中間会計期間（自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日）

ストックオプションの内容、規模及びその変動状況

(1) ストックオプションの内容

| | 平成14年ストックオプション | 平成15年ストックオプション | 平成18年ストックオプション |
|-------------------|---|---|---|
| 付与対象者の区分及び数 | 当社従業員 36名 | 当社取締役 3名 当社従業員 55名 | 当社取締役 3名 当社従業員 74名 |
| ストックオプション数 (注) | 普通株式 286株 | 普通株式 4,600株 | 普通株式 5,000株 |
| 付与日 | 平成14年3月25日 | 平成15年12月15日 | 平成18年4月28日 |
| 権利確定条件 | 新株予約権の割当を受けたものは、権利行使時においても当社または当社の関係会社の取締役、監査役または従業員であることを要す。 | 新株予約権の割当を受けたものは、権利行使時においても当社または当社の関係会社の取締役、監査役または従業員であることを要す。 | 新株予約権の割当を受けたものは、権利行使時においても当社または当社の関係会社の取締役、監査役または従業員であることを要す。 |
| 対象勤務期間 | 定めておりません。 | 定めておりません。 | 定めておりません。 |
| 権利行使期間 | 自 平成16年3月1日 至 平成19年2月28日 | 自 平成17年3月1日 至 平成20年2月末日 | 自 平成20年3月1日 至 平成23年2月末日 |

(注) 株式数に換算して記載しております。

(2) ストックオプションの規模及びその変動状況

当中間会計期間（平成18年5月期）において存在したストックオプションを対象とし、ストックオプションの数については、株式数に換算して記載しております。

(ストックオプションの数)

| | 平成14年ストックオプション | 平成15年ストックオプション | 平成18年ストックオプション |
|-----------|----------------|----------------|----------------|
| 権利確定前 (株) | | | |
| 前会計年度末 | — | — | — |
| 付与 | — | — | 5,000 |
| 失効 | — | — | — |
| 権利確定 | — | — | — |
| 未確定残 | — | — | 5,000 |
| 権利確定後 (株) | | | |
| 前会計年度末 | 148 | 3,724 | — |
| 権利確定 | — | — | — |
| 権利行使 | — | 261 | — |
| 失効 | 12 | 80 | — |
| 未行使残 | 136 | 3,383 | — |

(単価情報)

| | 平成14年ストックオプション | 平成15年ストックオプション | 平成18年ストックオプション |
|-------------|----------------|----------------|----------------|
| 権利行使価格 (円) | 155,500 | 109,109 | 153,000 |
| 行使時平均株価 (円) | — | 146,973 | — |

⑤ 持分法損益等

前中間会計期間（自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日）

該当事項はありません。

当中間会計期間（自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日）

該当事項はありません。

前事業年度（自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日）

該当事項はありません。

⑥ 発行済株式数の増加内訳

| 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) |
|--|---|--|
| 1. 平成17年1月20日付株式分割による 新株の発行 (1) 分割比率 1 : 2 (2) 発行株式数 76,085株 | 1. _____ | 1. _____ |
| 2. 新株予約権の権利行使による新株の 発行 (1) 発行株式数 1,860株 (2) 発行価格 1株につき22,000円 (3) 資本組入額 1株につき11,000円 (4) 資本組入の総額 20,460千円 | 2. 新株予約権の権利行使による新株の 発行 ① (1) 発行株式数 261株 (2) 発行価格 1株につき109,109円 (3) 資本組入額 1株につき54,555円 (4) 資本組入の総額 14,238千円 ② (1) 発行株式数 3,057.64株 (2) 発行価格 1株につき120,000円 (3) 資本組入額 1株につき60,000円 (4) 資本組入の総額 183,458千円 | 2. 新株予約権の権利行使による新株の 発行 ① (1) 発行株式数 3,390株 (2) 発行価格 1株につき22,000円 (3) 資本組入額 1株につき11,000円 (4) 資本組入の総額 37,290千円 ② (1) 発行株式数 76株 (2) 発行価格 1株につき109,109円 (3) 資本組入額 1株につき54,555円 (4) 資本組入の総額 4,146千円 ③ (1) 発行株式数 250株 (2) 発行価格 1株につき120,000円 (3) 資本組入額 1株につき60,000円 (4) 資本組入の総額 15,000千円 |

⑦ 1株当たり指標遡及修正値

決算短信に記載されている1株当たり指標を平成18年5月中間期の数値を100として、これまでに実施した株式分割等に伴う希薄化を修正・調整した数値に表示しますと以下のとおりとなります。

| | 平成17年11月期 | 平成18年11月期 | 平成17年11月期 |
|----------------|-----------|-----------|-----------|
| | 中 間 | 中 間 | 期 末 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 1株当たり中間(当期)純利益 | 3,817 65 | 1,819 96 | 7,307 68 |
| 1株当たり中間(年間)配当金 | 500 00 | 750 00 | 1,500 00 |
| 1株当たり純資産 | 56,411 98 | 61,230 51 | 59,190 52 |

(注) 平成17年5月中間期に株式分割を実施

効力発生日 平成17年1月20日に1 : 2の株式分割

(1株当たり情報)

| 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) | | | | | | | | |
|--|---|--|---------|-------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1株当たり純資産額 56,411円98銭 | 1株当たり純資産額 61,230円51銭 | 1株当たり純資産額 59,190円52銭 | | | | | | | | |
| 1株当たり中間純利益 3,817円65銭 | 1株当たり中間純利益 1,819円96銭 | 1株当たり当期純利益 7,307円68銭 | | | | | | | | |
| 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益 3,164円40銭 | 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益 1,508円82銭 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 6,005円86銭 | | | | | | | | |
| <p>当社は平成17年1月20日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。なお、当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の1株当たりの情報についてはそれぞれ以下のとおりとなります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>前中間会計期間</th> <th>前事業年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1株当たり純資産額 51,534.94円</td> <td>1株当たり純資産額 53,723.13円</td> </tr> <tr> <td>1株当たり中間純利益 3,025.65円</td> <td>1株当たり当期純利益 5,717.34円</td> </tr> <tr> <td>潜在株式調整後1株当たり中間純利益 2,698.77円</td> <td>潜在株式調整後1株当たり当期純利益 4,928.38円</td> </tr> </tbody> </table> | | | 前中間会計期間 | 前事業年度 | 1株当たり純資産額 51,534.94円 | 1株当たり純資産額 53,723.13円 | 1株当たり中間純利益 3,025.65円 | 1株当たり当期純利益 5,717.34円 | 潜在株式調整後1株当たり中間純利益 2,698.77円 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 4,928.38円 |
| 前中間会計期間 | 前事業年度 | | | | | | | | | |
| 1株当たり純資産額 51,534.94円 | 1株当たり純資産額 53,723.13円 | | | | | | | | | |
| 1株当たり中間純利益 3,025.65円 | 1株当たり当期純利益 5,717.34円 | | | | | | | | | |
| 潜在株式調整後1株当たり中間純利益 2,698.77円 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 4,928.38円 | | | | | | | | | |

(注) 1株当たり中間(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) |
|---|---|---|--|
| 1株当たり中間(当期)純利益 | | | |
| | 585,249 | 286,704 | 1,145,995 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — | 22,000 |
| 普通株式に係る中間(当期)純利益(千円) | 585,249 | 286,704 | 1,123,995 |
| 期中平均株式数(株) | 153,300 | 157,533 | 153,810 |
| 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益 | | | |
| 中間(当期)純利益調整額(千円) | — | — | — |
| 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(株) | | | |
| 新株予約権付社債 | 29,267 | 31,550 | 31,370 |
| 新株予約権 | 2,380 | 935 | 1,969 |
| 普通株式増加数(株) | 31,647 | 32,485 | 33,339 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 平成14年2月27日臨時株主総会決議ストックオプション 普通株式180株 | 平成14年2月27日臨時株主総会決議ストックオプション 普通株式136株 | 平成14年2月27日臨時株主総会決議ストックオプション 普通株式148株 |

(重要な後発事象)

| 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) |
|---|---|---|
| | | <p>1. 当事業年度終了後、平成17年12月1日から平成18年2月28日までに、新株予約権付社債の権利行使による新株への転換が行なわれました。その概要は次のとおりであります。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 新株予約権付社債の減少額 191,000千円(2) 資本金の増加額 95,499千円(3) 資本準備金の増加額 95,499千円(4) 増加した株式の種類及び株数 普通株式 1,591.65株(5) 新株の配当起算日 平成17年12月1日 <p>2. 平成18年2月24日開催の定時株主総会において、商法第280条ノ20及び第280条ノ21の規定に基づき、当社の取締役及び従業員に対して、ストックオプションとして新株予約権の発行について決議されました。</p> |

5. 販売の状況

(1) 商品区分別売上高

(単位：千円)

| 区 分 | 前中間会計期間 (自 平成16年12月1日 至 平成17年5月31日) | | 当中間会計期間 (自 平成17年12月1日 至 平成18年5月31日) | | 対前年中間期比 | | 前事業年度 (自 平成16年12月1日 至 平成17年11月30日) | |
|--------|---|------------|---|------------|---------|------------|--|------------|
| | 金額 | 構成比 (%) | 金額 | 構成比 (%) | 増減額 | 増減率 (%) | 金額 | 構成比 (%) |
| 日用雑貨売上 | 22,667,857 | 67.8 | 22,738,589 | 67.8 | 70,732 | 0.3 | 45,370,473 | 68.9 |
| 加工食品売上 | 10,687,125 | 32.0 | 10,706,640 | 31.9 | 19,514 | 0.2 | 20,332,078 | 30.9 |
| その他 | 66,961 | 0.2 | 99,708 | 0.3 | 32,746 | 48.9 | 149,609 | 0.2 |
| 合 計 | 33,421,945 | 100.0 | 33,544,938 | 100.0 | 122,993 | 0.4 | 65,852,161 | 100.0 |

(2) 地域別店舗数の状況

(単位：店)

| 地 域 | 前 期 末 (平成17年11月30日現在) | 当中間会計期間末 (平成18年5月31日現在) | 比較増減 |
|-------|--------------------------|----------------------------|------|
| 北海道 | 66 | 70 | 4 |
| 東北 | 60 | 57 | △3 |
| 関東 | 335 | 354 | 19 |
| 中部 | 91 | 89 | △2 |
| 近畿 | 71 | 87 | 16 |
| 中国 | 13 | 13 | 0 |
| 四国 | 3 | 3 | 0 |
| 九州・沖縄 | 119 | 124 | 5 |
| 合 計 | 758 | 797 | 39 |